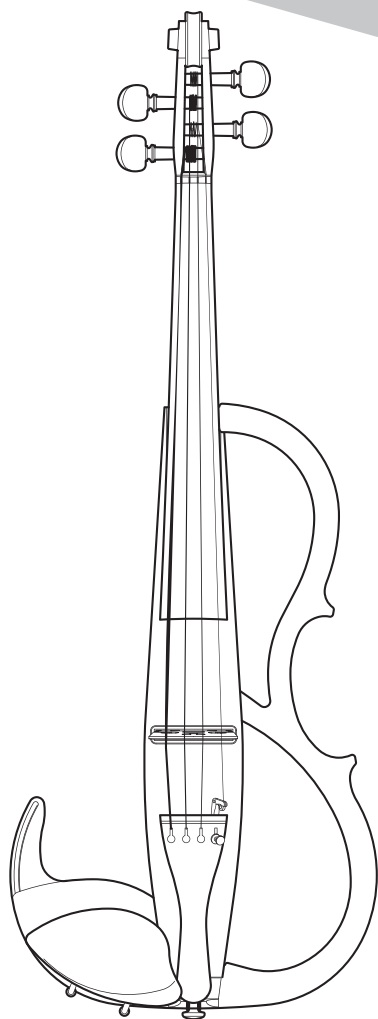




SILENT *Viola*TM

SVV-200



取扱説明書

Owner's Manual

Bedienubgsanleitung

Mode d'emploi

Manuale dell'utente

Manual de instrucciones

Руководство пользователя

使用手冊

사용설명서

日本語

English

Deutsch

Français

Italiano

Español

Русский

中文

한국어

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、




お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

分解禁止



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口にご依頼ください。

水に注意



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。

異常に気づいたら



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口にご依頼ください。

電源 / 電源アダプター



電源アダプターは必ず交流 100V に接続する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、指定のものを使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発火などの原因になります。



濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。お手入れをする際は、必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。



電源アダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに乾拭きする。
感電やショートのおそれがあります。

注意

電源 / 電源アダプター



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



タコ足配線をしない。コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。



電源アダプターのプラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源アダプターのプラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

電池



指定以外の電池を使用しない。
火災、発熱、液漏れの原因になります。



使い切りタイプの電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。



乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。



電池は一度に全部を交換する。電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。



電池は乳幼児の手の届く所に保管しない。
口に入れたりすると危険です。



電池を分解しない。
電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



電池を火の中に入れない。
破裂するおそれがあります。



電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。
電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



電池はすべて＋／の極性通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。



長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

接続



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。

運搬 / 設置



直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を使用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に立てない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

取り扱い



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損する原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォン(イヤホン)を使用しない。
聴覚障害の原因になります。



弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。



弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎない。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

ごあいさつ

このたびはヤマハサイレントビオラ™をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。サイレントビオラ™の機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

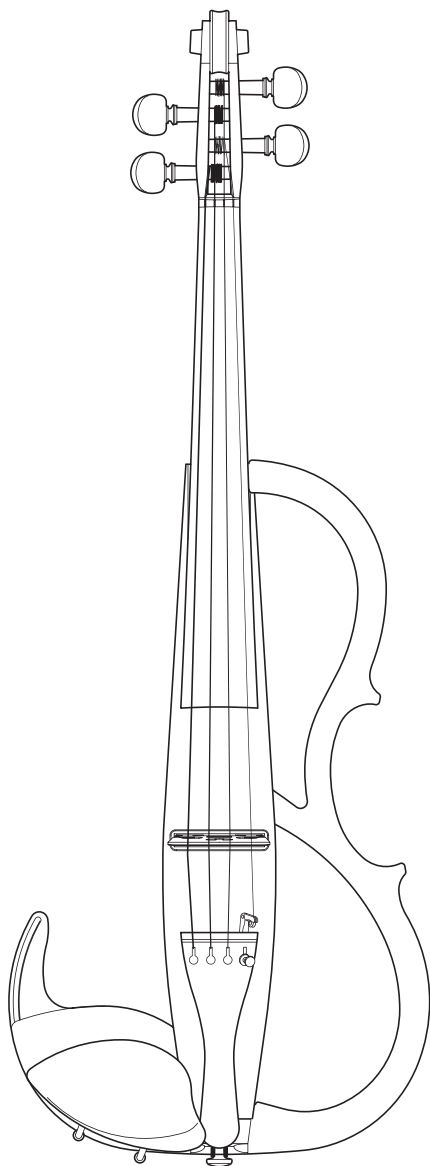
目 次

安全上のご注意	2
本体/付属品	5
本体各部の名称	6
演奏準備	8
■ 駒の設置について	8
■ 調弦について	9
■ 肩当てについて	9
■ 弦の交換について	10
電源の準備	12
コントロール部の説明	13
外部機器との接続例	16
本体仕様	17

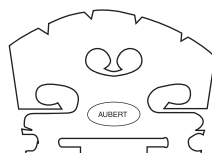
本体/付属品

パッケージを開けたら、本体および付属品を確認してください。

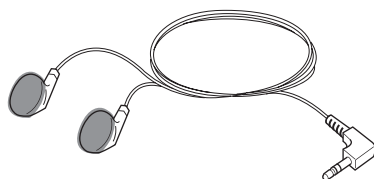
● 本体×1



● 駒×1



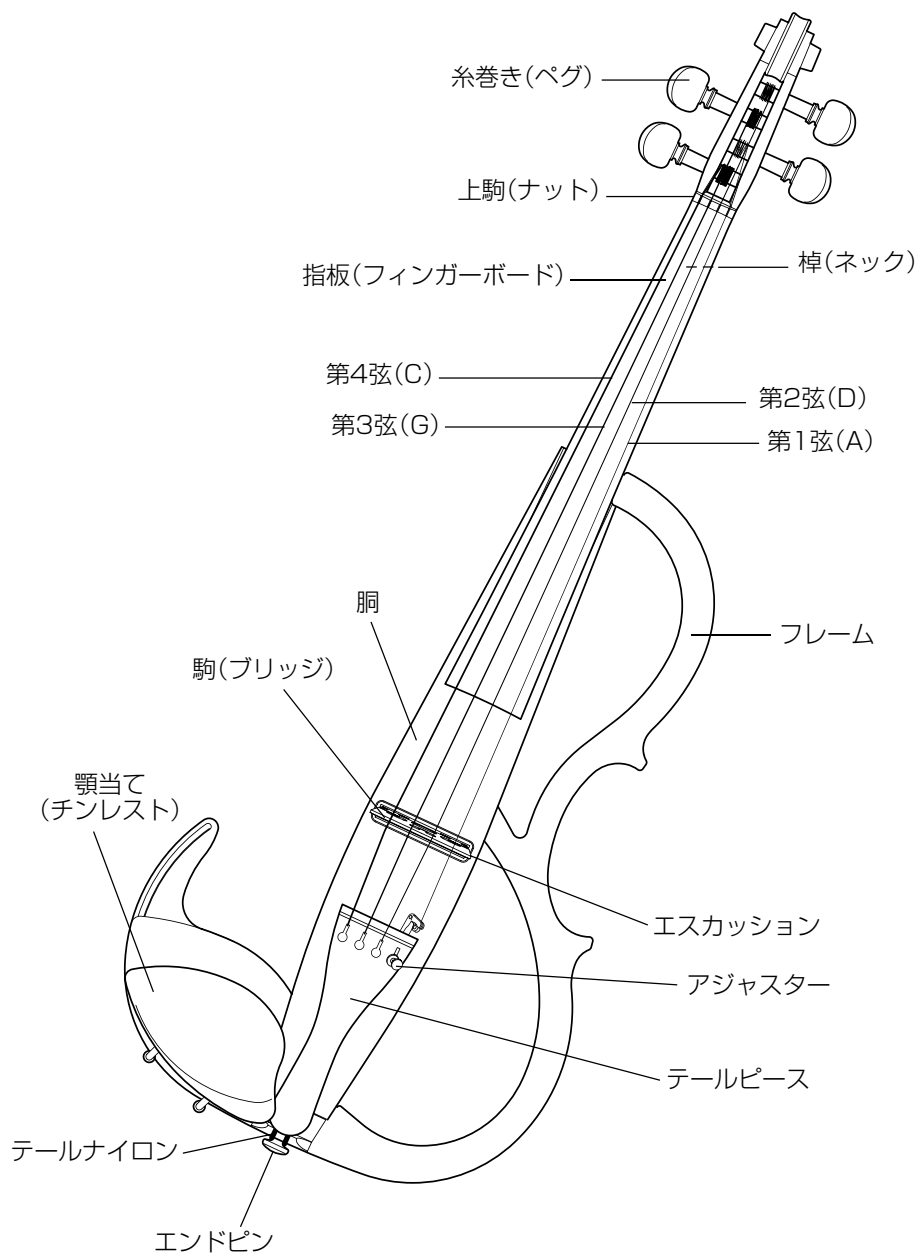
● ステレオインナーフォン×1



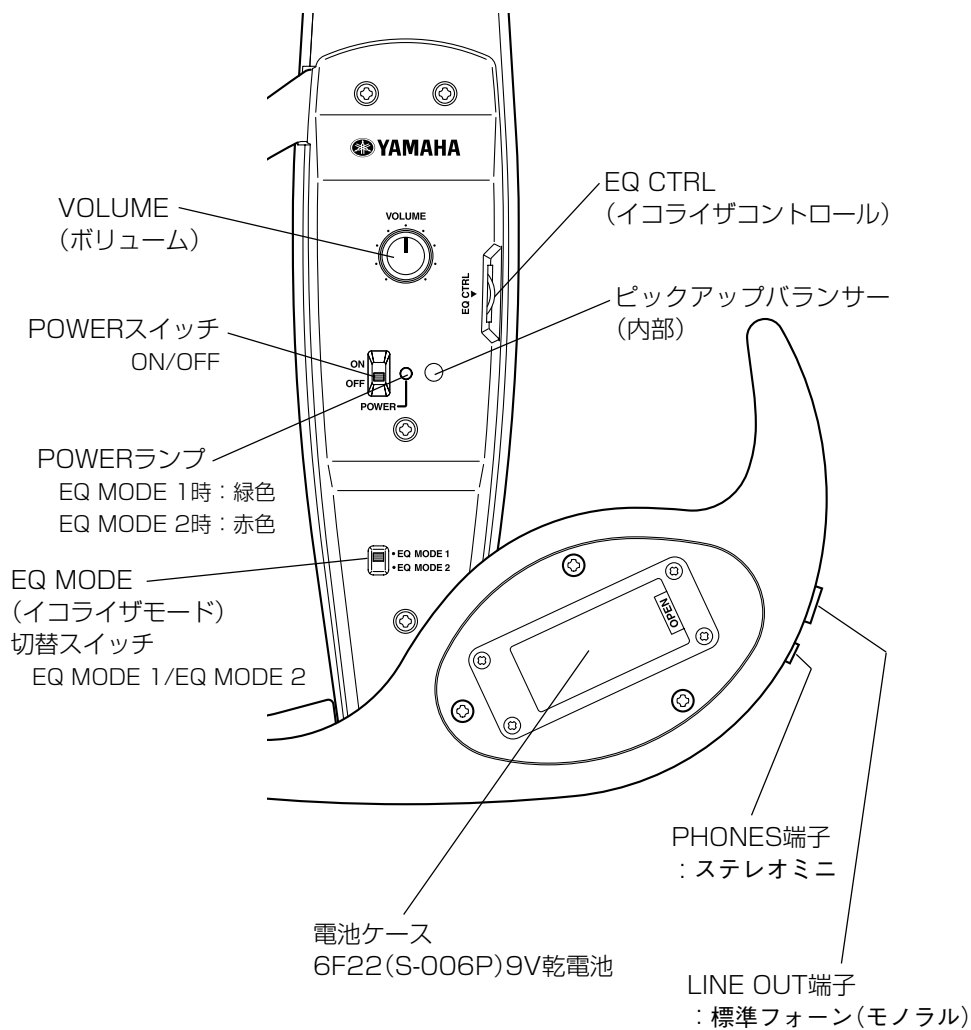
※ ご使用になるには、6F22 (S-006P)
9V 乾電池が必要です。

本体各部の名称

● フロント部



● コントロール部

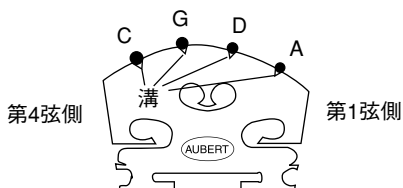


演奏準備

■ 駒の設置について

出荷時、駒はサイレントビオラ™本体から外してあります。
まず駒を本体に正しく取り付けてから、調弦してください。

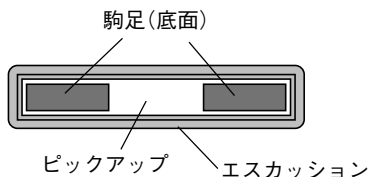
- 駒は上部の山が低い方が第1弦(A)側、高い方が第4弦(C)側です。向きに注意してエスカッションの中に正しく取り付けてください。(刻印面がテールピース側になります。)



【テールピース側から見た図】

- 駒足の底面全体がピックアップの上に乗るように配置してください。

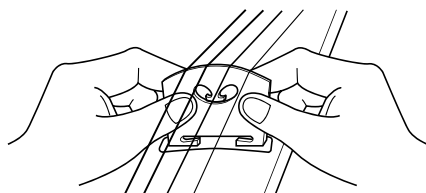
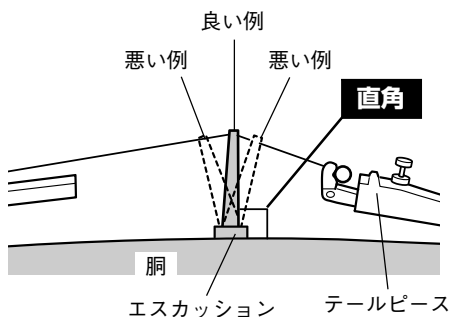
また、駒足がエスカッションからはみ出したり、側面に強く接触しないように注意してください。そのような状態で使用すると、音質が劣化する場合があります。



【駒足の配置】

- 駒は、テールピース側の面が胴に対して垂直になるように立ててください。傾いている場合は両手でそっと起こしてください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まっていることを確認してください。

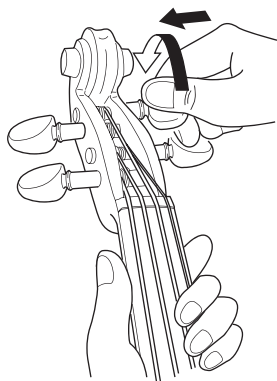
* 駒が傾いた状態で使用すると、音質の劣化や駒の破損の恐れがあります。



【駒は垂直に立てる】

■ 調弦について

- 調弦は、第1弦がA音、第2弦がD音、第3弦がG音、第4弦がC音です。
ピアノや音叉、チューナーなどの音に合わせて、糸巻を回してチューニングしてください。糸巻きは押し込みながら回します。
- 調弦後、駒のテールピース側の面が胴に対して垂直になっていることを確認してください。傾いている場合は弦を少しゆるめてから、駒を両手でそっと起こしてください。
- 第1弦は、アジャスターを回してチューニングを微調整することができます。

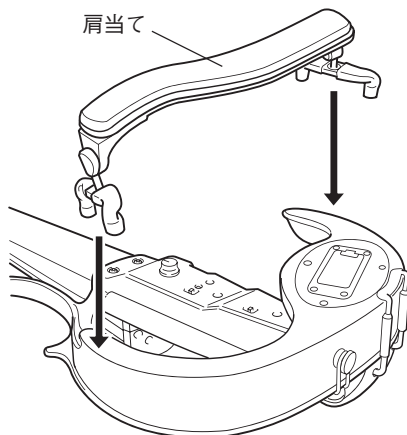


注意!

- ・アジャスターを締めすぎたり緩めすぎたりしないでください。本体を傷つけたり、演奏時の雑音の原因となったりします。
- ・駒を本体から取り外す場合、アジャスターと本体が接触し、傷つけないように注意してください。

■ 肩当てについて

本機には、市販のビオラ用肩当てを取り付けることができます。



注意!

本製品の部品には天然木が使用されていますので、ご使用の方法や環境によっては、手や身体、衣服が黒ずんだり、木製部品が変色する場合があります。身体に着色しても害はありませんが、十分水で流してください。衣服等の黒ずみ、木製部品の変色に関しては保障いたしかねます。

■ 弦の交換について

弦は古くなると、音質が劣化し、調弦しても音程が合わなくなります。

弦が古くなったと感じたら、早めに新しい弦に交換しましょう。

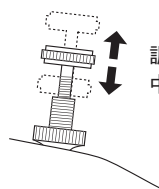
全弦を交換する場合も、必ず1本ずつ交換してください。



注意！

- 弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。
- 弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。

1. 弦を取り付ける前に、アジャスターを調整範囲の中間くらいの位置まで回しておきます。(第1弦のみ)

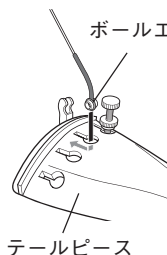


調整範囲の
中間くらいの位置に

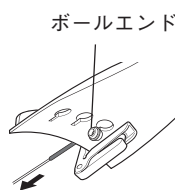
2. テールピースに弦をセットします。
 - ・ **4(C)弦、3(G)弦、2(D)弦**は、弦の端のボールをテールピースの穴に上面から差し込み、テールピース裏面に引っ掛けるようにして弦を引き上げます。
 - ・ **1(A)弦**は、弦の端のボールをアジャスターに引っ掛けます。この時、アジャスターの溝にボールを確実に収めるようにしてください。

- 弦の端のボールとテールピースの穴の大きさの関係により、穴上面からボールエンドを差し込めない場合があります。その場合は、テールピース裏面側から弦を通してください。

【4(C)弦、3(G)弦、2(D)弦の張り方】



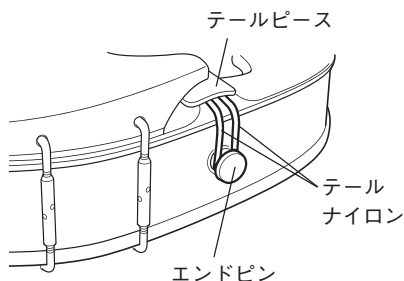
テールピース



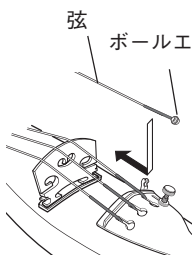
テールピース
裏面から見た図

注意！

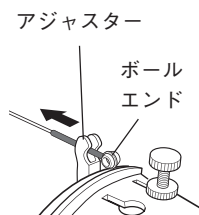
- ・ テールナイロンが、正しくエンドピンに掛かっていることを確認してください。



【1(A)弦の張り方】



弦
ボールエンド



アジャスター

ボール
エンド

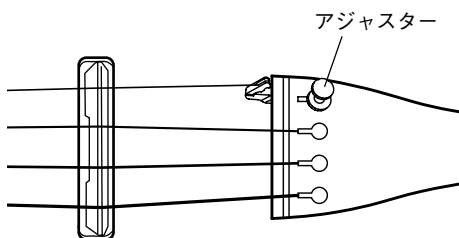
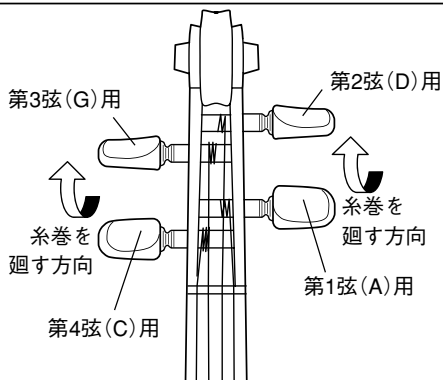
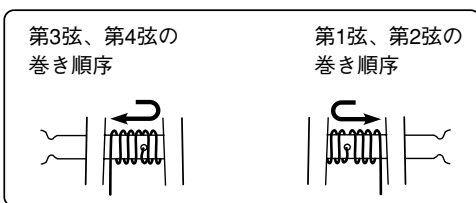
3. 弦を糸巻きの穴に通し、巻いていきます。

- ・ 第1弦(A)、第2弦(D)は、右図のように、向かって左側へ2回巻いた後、右側へ巻いていきます。
- ・ 第3弦(G)、第4弦(C)は、向かって右側へ2回巻いた後、左側へ巻いていきます。

この時、駒が弦に引きずられて指板の方向に倒れないように注意してください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まるようにセットしてください。(駒は、常にテールピース側の面が胴に対して垂直になるようにして立てます。)

4. ピアノや音叉、チューナーなどの音に合わせて、糸巻きを回してチューニングします。

5. 第1弦は、アジャスターを回してチューニングを微調整することができます。



注意!

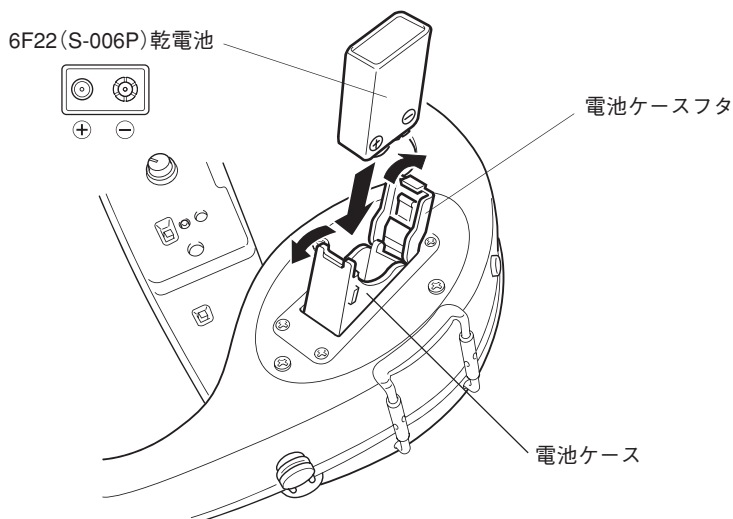
- ・ アジャスターを締めすぎたり緩めすぎたりしないでください。本体を傷つけたり、演奏時の雑音の原因となったりします。

- 楽器を長期間使用しない場合は、弦を少しゆるめて保管してください。

電源の準備

サイレントビオラ™は、電源として6F22(S-006P)9V乾電池を使用します。
電源の準備をする前に、本体コントロール部のPOWERスイッチ(ON/OFF)をOFFにしてください。

1. 本体裏面にある電池ケースの、“OPEN”と書いてあるツメを手前に引いて電池ケースを引き出し、フタをあけます。
2. 乾電池(6F22：S-006P乾電池)をケースに入れます。イラストを参考に、向きと極性(+/-)を間違えないように入れてください。
3. フタを閉め、電池ケースを完全に押し込みます。



電池が少なくなるとPOWERランプが消え、音が出なくなります。そのような時は以下のことに注意して乾電池を交換してください。



注意！

- 電池の形状(電池端子および外形形状等)は、電池メーカーにより少しずつ異なります。電池ケースと異なる形状の電池を使用した場合、電池ケースへの挿入が困難となり、本体を破損するなどのおそれがあります。また、挿入できても電池端子との接触不良により、動作しなかったり発火するなどのおそれがあります。
- 乾電池は+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発火するおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。

コントロール部の説明

① POWERスイッチ

電源のON/OFFを切り替えます。

② VOLUME(ボリューム)

音量を調整します。右(時計回り)に廻すと音量が大きくなります。

③ EQ CTRL(イコライザコントロール)

本機は、イコライザコントロール機能を装備しています。これは、演奏時に生成される高次倍音成分を独立に抽出し、制御するものです。本機能により、サイレントビオラ™の持つ音色、反応性などを効果的に調整できます。お好みの音色に調整してください。推奨目盛は6です。

④ EQ MODE(イコライザモード)切替スイッチ

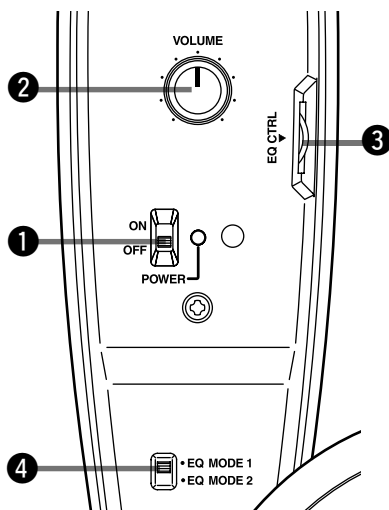
2種類のEQ MODEの選択を行ないます。

・ EQ MODE 1

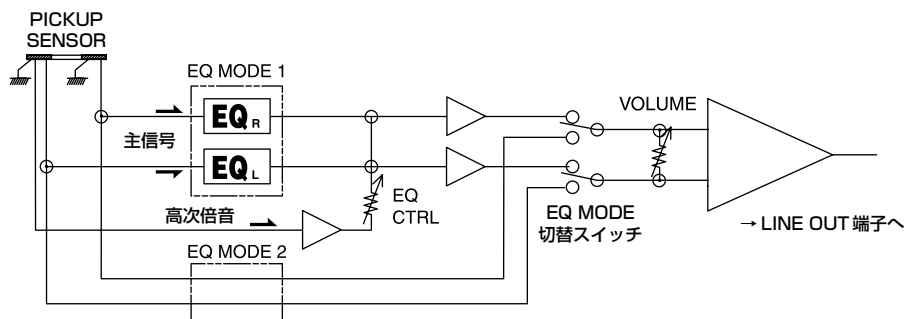
最適な音色になるように、あらかじめ設定されています。通常は、このモードでEQ CTRLをお好みの位置に調整してお使いになることをお勧めします。

・ EQ MODE 2

ピックアップからのダイレクトな音色でご使用になりたい場合は、EQ MODE 2にしてください。音色補正されないダイレクトなサウンドを得ることができます。



【回路ブロック】



⑤ ピックアップバランサー

本機のピックアップ部には、低音弦側と高音弦側にセンサーが埋め込まれています。弦の種類や奏法の違いにより、低音弦と高音弦のバランスを調整したい場合は、以下の手順で行ってください。

1. 本体コントロール部のPOWERランプ右にあるゴム製のカバーを外します。

* このカバーは、なくさないでください。

2. 調整は、非導電性ドライバー（プラスチックまたは樹脂製の、電気を通さないドライバー）を使って、穴の内部にあるバランサーを回して行ないます。

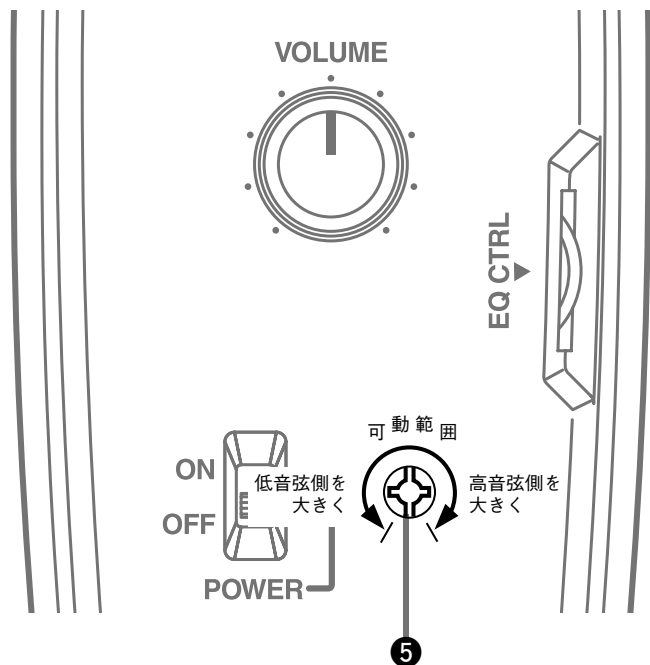
ステレオインナーフォンを接続して音をモニターしながら、音の定位が最も自然な位置になるように調整してください。

右（時計方向）に廻すと高音弦（R）側の音量が大きく、左（反時計方向）に廻すと低音弦（L）側の音量が大きくなります。

* バランサーは回しすぎないでください。無理に廻すと破損の恐れがあります。

3. 調整がすんだら、ゴム製のカバーでフタをして完了です。

参考 上記調整を行なったときは、LINE OUT端子出力の音質を確認されることをお勧めします。

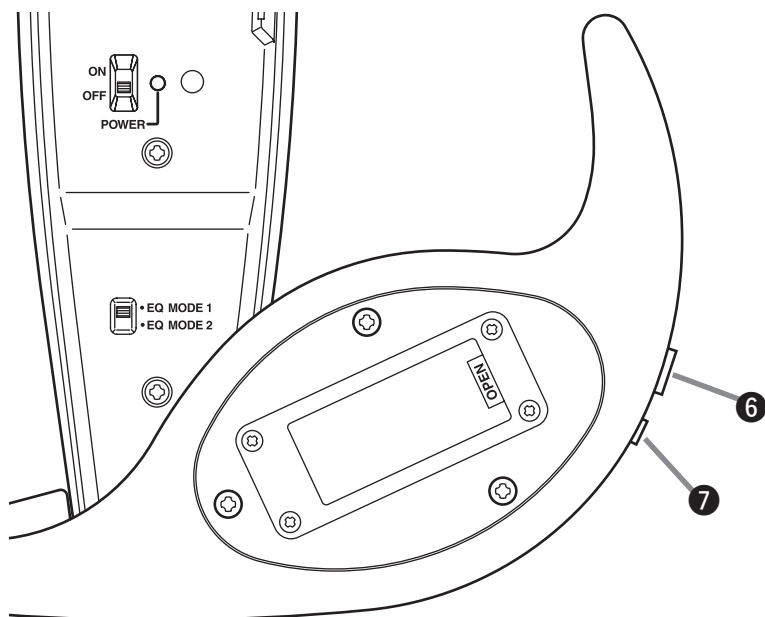


⑥ LINE OUT端子

サイレントビオラ™の音声信号を出力する端子(標準フォン：モノラル)です。パワードスピーカー、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子と接続すれば、サイレントビオラ™の演奏音を外部機器で鳴らしたり、録音することができます。電子チューナーのINPUT端子と接続すれば、電子楽器のように出力信号を使ってチューニングすることができます。

⑦ PHONES端子

ステレオインナーフォンなどを接続する端子(ステレオミニ)です。低音弦の音はより左チャンネル(L)側から、高音弦の音はより右チャンネル(R)側から聞こえ、自然な音の広がり感が得られます。ステレオインナーフォンのL(左耳)/R(右耳)を間違えないようにご使用ください。

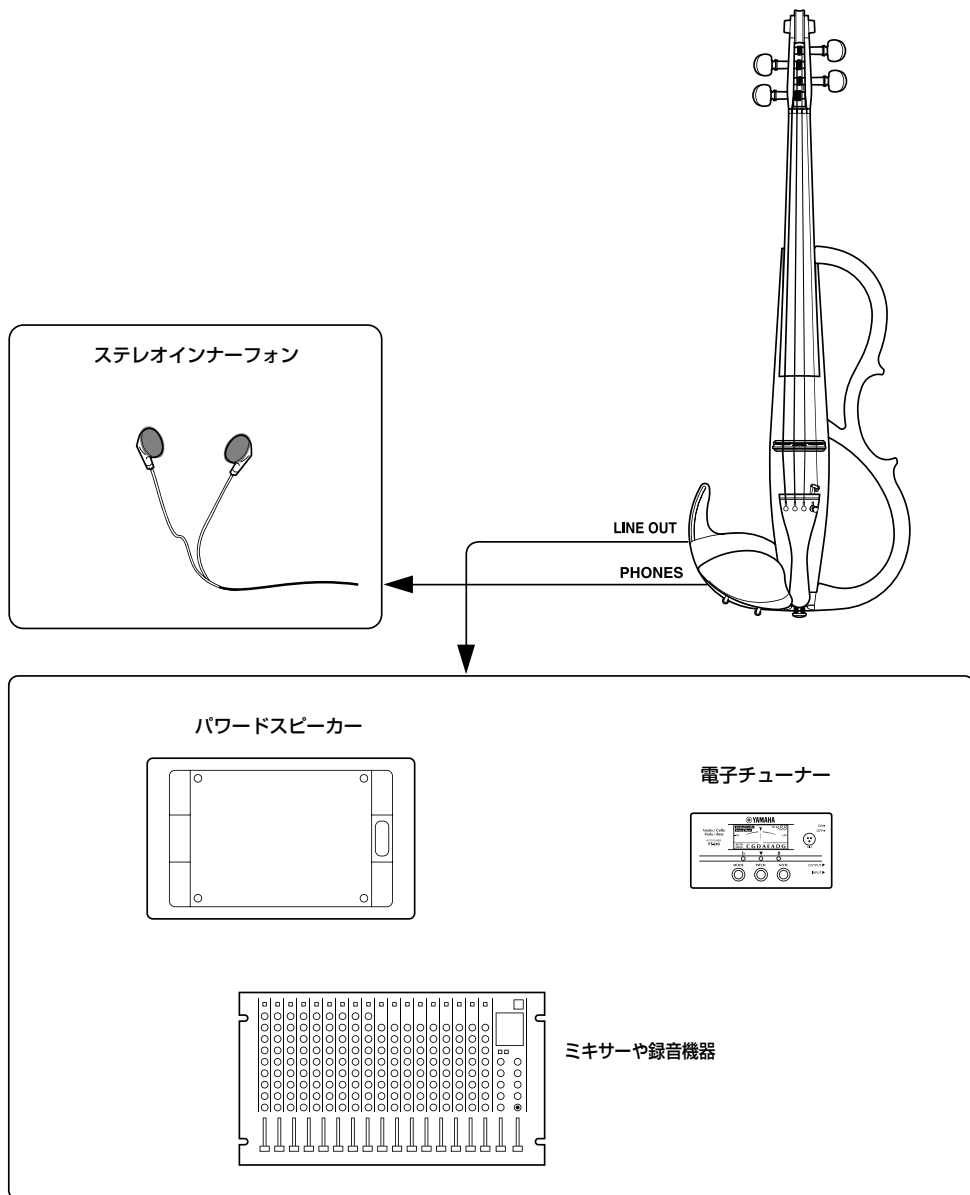


注意！

- 大きな音量で長時間イヤホン(ヘッドフォン)を使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- サイレントビオラ™を外部機器と接続する場合は、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。大音量で聴覚障害を起こしたり、機器を損傷するおそれがあります。
- 電源が入った状態で接続コードが抜けると、機器が損傷するおそれがあります。耳に伝わる衝撃も大きいので注意してください。
- コードを踏まないように注意してください。コードの断線や、接続の外れによる機器の損傷、耳への衝撃などのおそれがあります。

外部機器との接続例

サイレントビオラ™



外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを用い、確実に接続してください。

本体仕様

棹	ハードメイプル
胴	スプルース
指板・糸巻き	エボニー
駒	ハードメイプル(Aubert社製)
フレーム	成形合板
顎当て・テールピース	エボニー
アジャスター	第1弦(Wittner社製)
弦	ボールエンドタイプ(Dominant社製)
センサー	駒下配置方式ステレオピエゾピックアップ
電気	<ul style="list-style-type: none">● POWERスイッチ(ON/OFF)● VOLUME● EQ CTRL(イコライザコントロール)● EQ MODE切替スイッチ(EQ MODE 1/EQ MODE 2)● LINE OUT出力● PHONES出力
電源	6F22(S-006P)/6LR61 : 9V乾電池×1個* *充電式乾電池は使用不可
電池寿命(通常連続使用時間)	マンガン乾電池:12時間 アルカリ乾電池:24時間
弦長	375mm
胴長	406mm
寸法	677(L)×246(W)×129(H)mm
質量	約740g(乾電池含む)

※ 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1